



2021年度 活動トピックス

「こころ彩るところ」 フジフィルム スクエア 2022

——— 社会連携活動やデジタルコンテンツを強化・充実させた1年 ———

2021年度 活動トピックス

写真展の開催本数79本、ご来館者数約25万人

フジフィルム スクエアは、写真文化の発展に、創業以来貢献してきた富士フィルムが、写真が持つ価値を伝える活動の一環として2007年に開館した複合型ショールームです。2021年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の中、来館者、出展者とスタッフの安全確保を第一に考え、4月25日から5月31日まで臨時休館しました。再開にあたっては、安心安全な環境を作ることが最優先に運営し、1年間で79本の写真展を開催し、約25万人の方にご来館いただきました。

出展者、写真展に協力して下さる方々、来館者、Web視聴者、皆様と共に写真展を開催

写真展の開催は富士フィルムだけで成し得る活動ではありません。フジフィルム スクエアは、出展者、写真展に協力して下さる関係者、そして、写真展会場で写真を鑑賞される方々やWebサイト上で写真家や写真について学んだり楽しんだりされる方々など皆様との協業によって写真展を開催できる、という考えの下で活動してきました。

より社会と密接に連携し、人々の心の豊かさに貢献する写真展を開催

社会とより密接に関わる写真展を開催することが、さらなる人々の心の豊かさへの貢献につながると考え、2021年度は積極的に企業・団体の皆様と連携して写真展を開催いたしました。

デジタルコンテンツの充実

また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響でご来館が難しい方や、遠方の方にも写真をお楽しみいただけるようにデジタルコンテンツの充実を図り、Webサイトもリニューアルしました。

この『2021年度活動トピックス』では、フジフィルム スクエアで2021年度に実施した活動をダイジェストでご紹介いたします。フジフィルム スクエアの「こころ彩る」活動をご理解いただく機会となれば幸いです。

フジフィルム スクエア施設コンセプト



魂のこもった写真に心を動かされました

鑑賞している時は時間が止まったように感じた

本当に美しいです。何時間でも見ていられます

お客様からいただいた「彩り」の声

写真家の心を感じた

鳥肌がたちました

光と影の力を感じました

写真から元気をもらった

丁寧なキャプションでより深く理解し、感動が深まった

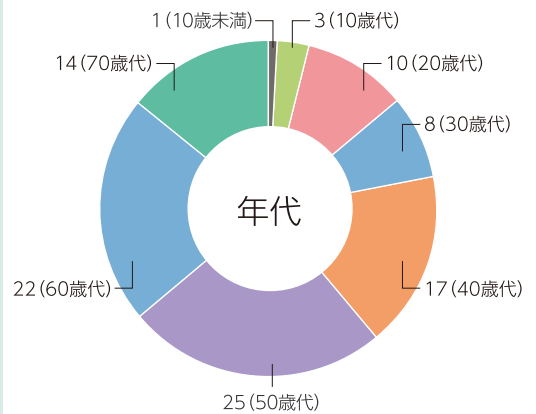
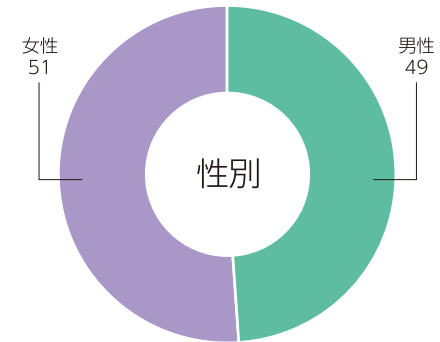
・本データは2021年度の自社調査に基づくものです。
 ・2021年度とは2021年4月1日から2022年3月31日を指します。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から臨時休館した2021年4月25日から5月31日までの37日間および年末年始を除いた322日が2021年度の写真展開催期間です。

来館者数 臨時休館日37日間および年末年始を除く
稼働日数322日の来館者

250,161人

1日平均
777人

来館者属性



※自社アンケート調査による。(回答人数6,087人、グラフの単位は%)

写真展の開催回数

79本



■当社が主催・共催・協力する企画展 **33本**

若手写真家から作品を募集し、作品発表の機会を提供する企画展「写真家たちの新しい物語」8本、歴史的に価値の高い作品を展示する写真歴史博物館の企画写真展4本、当社が主催・共催する写真展20本、当社が協力する写真展1本を開催。

■公募展 **46本**



〈企画展のDM・パンフレット例〉

Web公開動画

フジフィルム スクエア Webサイトで公開した動画本数。

11本



総再生回数

22,572回

※2022年3月31日現在。
広告による再生は含まない。

Web公開インタビュー記事

フジフィルム スクエア
Webサイトで公開した
インタビュー記事本数。

4本

Webマガジン公開コラム

フジフィルム スクエアや
写真について
気軽に読んでいただくコラム

4本

日本人の心の中にある富士山を、 素晴らしい写真展で見る幸せを感じた

文化庁を中心とした「日本博参画プロジェクト」※、凸版印刷株式会社主催「生誕260年記念企画 特別展『北斎づくし』」、「国境なき医師団」等、さまざまな企業・団体と連携し、写真展を開催しました。

※「日本の美」を国内外へ発信し、次世代に伝えることでさらなる未来の創生を目指す、文化庁を中心として全国で体系的に展開する大型国家プロジェクト



連携例①

幅広い連携により、「日本の美」を体感する機会を提供し、人々の心の豊かさに貢献

日本博参画プロジェクトに認証され、さらに世界遺産リレー催事实行委員会、一般社団法人世界文化遺産地域連携会議にもご後援いただいた4本の写真展を2021年6月11日から8月19日まで連続開催。ご来館された延べ5万人以上の方々には写真を通じて「日本の美」を体感していただき、人々の心の豊かさに貢献する機会を提供しました。



2021年6月11日(金)～6月30日(水)
◆立木義浩写真展「遍照(へんじょう)」
～世界遺産 東寺～



※真言宗総本山 東寺とも連携

来館者の声

今まで見ていなかった世界が見えました。
何時間でも見ていられます。

2021年7月1日(木)～7月20日(火)
◆「魅力発見! 日本の世界文化遺産」
～写真が語る日本の歴史～



来館者の声

日本の世界遺産のすばらしさに
改めて気づかされた。

2021年7月21日(水)～8月19日(木)
◆日本人の魂「富嶽今昔(こんじゃく)三十六景」～北斎と4人の巨匠たち～
◆織作峰子写真展「Homage to Hokusai」～悠久の時を旅して～



※凸版印刷株式会社主催の「北斎づくし」展とも連携

来館者の声

富士山の写真の前で感動して
身動きできなくなった。

連携例②

医療・人道援助団体「国境なき医師団」※への協力

世界の人道危機や、医療・人道援助活動についての理解促進を目的とした国境なき医師団主催の写真展に会場を提供し、協力しました。来館者からは、国境なき医師団の活動に深く感銘する声が寄せられ、著名な写真家集団「マグナム・フォト」の写真の持つ“伝える力”を通じて、日本から遠く離れた地で起こる人道危機を身近に感じていただく機会となりました。

※国境なき医師団は、紛争地や自然災害の被災地、貧困地域などで危機にひんする人々に独立・中立・公平な立場で緊急医療援助活動を届ける、民間で非営利の医療・人道援助団体。

来館者の声

展示物の解説をじっくり読んで、考えながら写真を見ました。社会的に意義ある展示だと思いました。

2021年10月1日(金)-10月6日(水)
国境なき医師団設立50年
「私たちは声を上げる。」マグナム・フォト連携写真展
——目撃者の証言



実際に行けなくても、Webサイトを見ると 写真について理解が深まった

当社コンシェルジュによる「写真歴史博物館の紹介動画」を初公開。さらに、Webマガジンや従業員向けポータルサイトでも発信を開始し、コンテンツを充実させました。そして、Webサイトも読みやすくリニューアルし、いつでもどこでも手軽に写真を知る機会を提供しました。



コンシェルジュ動画のスマートフォン画面イメージ

施策①

Webサイトの充実

コンシェルジュ動画

富士フィルムで写真関連製品・サービスの研究・開発・技術サポートに長年携わったOBが、コンシェルジュとして、館内の写真展や展示物についてわかりやすく解説する動画を公開。再生回数は4,817回*を数えました。*2022年3月31日現在



Webマガジン

施設の楽しみ方や写真についての豆知識を気軽に読めるコラムを公開しました。



〈コラム例〉

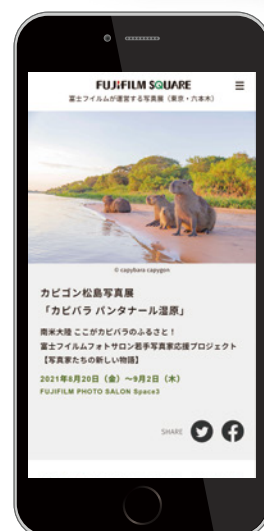
- ① 東京の真ん中の博物館で写真の歴史に触れる(しかも無料で!)
- ② レトロなカメラが懐かしくカッコイイ!? フジフィルム スクエア「写真歴史博物館」でお宝探し!
- ③ 六本木の待ち合わせ場所はカフェだけじゃない!?
フジフィルム スクエアで写真を見ながらゆったり待ち合わせ!

Webサイトリニューアル

Webサイトを読みやすく、また、スマートフォンやタブレット端末からもご覧いただきやすくしました。



Webマガジンに公開されたコラムのスマートフォン画面イメージ



リニューアルしたフジフィルム スクエアWebサイトのスマートフォン画面イメージ

施策②

従業員向けポータルサイトでも写真展を紹介

お客様への写真展案内だけでなく、富士フィルムグループの従業員向けポータルサイトでも10回にわたって写真展を紹介し、フジフィルム スクエアの活動について従業員の理解を深めました。

従業員の声

- 写真の価値を伝える活動に感謝します。私も身近な家族や友人に伝えていきます。
- 心が動かされる写真展なので、ぜひ子供に見せたい。休日に子供を連れて見に行きます。
- 富士フィルムが、写真の「伝える力」を発揮して、意義深い写真展を開催していることを誇りに思う。



従業員向けポータルサイトに掲載された写真展紹介記事

「こころ彩るところ」
 フジフィルム スクエアは、
 写真文化を未来へと
 絶えず、守り育み続けます。

富士フィルムは1934年の創業以来、写真フィルム事業で培った幅広い技術を蓄積・進化させ、価値のあるイノベティブな製品・サービスを提供することで、社会の文化、産業の発展、健康増進、環境保持に貢献し、人々の生活の質のさらなる向上に寄与するよう取り組んできました。その中で当社はフジフィルム スクエアが取り組む「写真を通じて人と人の心をつなぐ活動」を、心の豊かさや人々のつながりに貢献する活動と位置づけています。

2021年度もフジフィルム スクエアはたくさんの方にお越しいただき、「写真を見て気持ちが明るくなった」「写真家のことを深く知ることができた」「写真の力に改めて感動した」等、多くの「こころ彩った」声を頂戴しました。

これからも当社はフジフィルム スクエアでの感動を呼び起こす写真展示や、思い出をカタチにする写真製品の提供等を通じ、写真文化を守り育み続けます。



富士フィルムフォトサロン 東京

写真文化の向上と写真の普及に寄与する、クオリティの高いさまざまなジャンルの写真を展示する写真ギャラリーです。プロ・アマを問わず写真の魅力、素晴らしさを表現した作品を厳選し、一週間単位で写真展を開催しております。公募についてはウェブサイトをご覧ください。



写真歴史博物館

貴重なアンティークカメラや富士フィルムの歴代カメラの展示に加え、歴史的に価値のある写真を展示する企画展も定期的に開催しています。写真の文化、カメラの歴史的進化をご覧いただける博物館です。170年を超える写真文化の変遷をぜひお楽しみください。



タッチ フジフィルム

「チェキ」をはじめとする大人気 instax シリーズや富士フィルムのミラーレスデジタルカメラ「GFX・Xシリーズ」、交換レンズなどの最新製品を展示しています。また、スマートフォンからも簡単にご注文いただけるプリントやフォトブックバリエーション、写真をもっと気軽に飾っていただくための「WALL DECOR」、写真を使ったオリジナルギフト「PHOTO GOODS」等を展示し、新しい写真の楽しみ方をご提案しています。



ASTALIFT ROPPONGI | フジフィルム ヘルスケアショップ

「アスタリフト」をはじめ、長年の写真分野の研究開発で培った独自の技術を応用した富士フィルムの化粧品・サプリメント・ヘアケア製品を全商品取りそろえています。化粧品やドリンクをお試しいただき、ビューティーコンサルタントのアドバイスを受けることもできます。当店限定のお得なキャンペーンなども実施しています。



FUJIFILM SQUARE

フジフィルム スクエア

開館時間 10:00~19:00 (入館は18:50まで)

無休(年末年始を除く) / 入館無料

※やむを得ず臨時休館する場合がございます。ウェブサイト・電話でご確認ください。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3 東京ミッドタウン・ウェスト 1F
 TEL.03-6271-3350(10:00~18:00) <https://fujifilmsquare.jp/>

都営大江戸線「六本木駅」8番出口と直結

東京メトロ日比谷線「六本木駅」東京ミッドタウン行き地下通路で徒歩4分

東京メトロ千代田線「乃木坂駅」3番出口より徒歩5分

鑑賞ガイド

右記の二次元コードから写真展がより楽しめる鑑賞ガイドをご覧いただけます。

